

# 東日本大震災

# 復興応援

# コンサート

# 2016

～ 福岡より復興の願いを込めて ～

## 実施報告書



11月26日(土) 10:00～  
水梨コミュニティ仮設住宅 集会所  
(気仙沼市赤岩迎前田127)  
《ご協力》(一社)ボランティアステーションin気仙沼 様

11月27日(日) 10:00～  
通町市営住宅 集会所  
(仙台市青葉区通町1丁目6番10号)  
《ご協力》仙台市青葉区まちづくり推進課地域振興係 様



in気仙沼市

in南三陸町

in仙台市  
青葉区

in仙台市  
宮城野区



11月25日(金) 14:00～  
志津川東復興住宅第1集会所  
(南三陸町志津川字沼田地内)  
《ご協力》南三陸町ボランティアセンター 様



11月27日(日) 14:00～  
田子西市営住宅 集会所  
(仙台市宮城野区田子西1丁目11番地)  
《ご協力》田子西町内会 会長 川名 清 様



## 福岡市職員音楽会実行委員会

### 福岡市職員音楽会実行委員会

当会は、福岡市職員や関係職場の職員の音楽を愛する仲間が集う有志（アマチュア）の団体で、毎年1回、福岡市内のホールにてピアノ・フルート・ギターなどの器楽演奏、合唱、独唱に合わせた踊りなどによる手作りコンサートを、東日本大震災や熊本地震の被災地を訪問しての「復興応援コンサート」や福岡市役所1階市民ロビーでの「夏の思い出ロビーコンサート」を開催しています。

当会のホームページは [福岡市職員音楽会実行委員会](#)  をご覧ください。

## 概要

福岡市職員音楽会実行委員会では、平成28年8月27日(土)、福岡市中央区のあいれふホールにて「第9回夏の思い出コンサート(福岡市職員音楽会)」を開催しました。

このコンサートは、平成28年熊本地震・東日本大震災チャリティとしても開催し、来場者の皆様から募金をいただきました。

そして、当会では復興応援として募金以外に自分たちに出来る音楽で、被災地の皆様に少しでもお役にたてればとの思いで、地元の自治体やボランティア団体などのご協力により、今回で5回目となる復興応援コンサートを南三陸町・気仙沼市・仙台市青葉区・仙台市宮城野区の仮設住宅や復興公営住宅(市営住宅)の集会所4ヶ所で開催しました。

今回は、仙台市青葉区と仙台市宮城野区の会場で、オーボエやフルートを演奏される仙台市職員有志の皆様と初めて共演してアンサンブルにより演奏をお届けしました。

コンサート終了後、ご来場いただきました皆様とのお茶会でいろいろなお話しをお聞きすることができるなど参加メンバー自身も貴重な経験となりました。

## 演奏

福岡市職員音楽会実行委員会  
(賛助)仙台市職員有志…仙台市内の会場のみ

## プログラム

- ♪パッヘルベルのカノン  
／作曲：パッヘルベル(オーボエ・フルート)
- ♪花束を君に  
／作曲：宇多田ヒカル(フルート・ピアノ)
- ♪糸  
／作詞・作曲：中島みゆき(ピアノ弾き語り)
- ♪いつも何度でも  
／作曲・編曲：木村弓  
(フルート・リコーダー・ピアノ・カホン)
- ♪アメイジング・グレイス  
／アメリカ民謡(フルート独奏)
- ♪クリスマスメドレー  
(フルート二重奏)
- ♪川の流れるように  
／作曲：見岳章  
(フルート・ピアノ又はアンサンブル)
- ♪あまちゃんオープニングテーマ  
／作曲：大友良英  
(フルート・ピアノ又はアンサンブル)
- ♪花は咲く  
／作詞：岩井俊二 作曲：菅野よう子
- ♪ふるさと  
／作詞：高野辰之 作曲：岡野貞一
- ♪きよしこの夜  
／作詞：由木康 作曲：グルーバー

※会場により演奏曲・編成が異なります。

## 出演者

福岡市職員音楽会実行委員会  
フルート 井料田 充  
司会&リコーダー 塩見 美恵子  
打楽器 江藤 孝子  
ピアノ(弾き語り) 田中 陽介

(賛助)仙台市職員有志  
オーボエ 竹中 克己  
フルート 伊勢 貴  
フルート 梅沢 裕子  
司会 奈須野 玲子







南三陸町さんさん商店街で美味しい魚料理の昼食をいただきました。



南三陸町役場の庁舎建設も進んでいました。



コンサート会場の志津川東復興住宅です。入居が2～3ヶ月前から始まったばかりでコミュニティづくりが課題とのことでした。



コンサートの様子です。



コンサート開催にご協力いただいた皆様や南三陸町ボランティアセンターの皆様との記念写真です。



コンサート終了後、元南三陸町教育長の勝倉さんから戸倉地区を案内していただきました。



最後まで避難を呼びかけた職員その他43名が犠牲となった防災対策庁舎を案内していただきました。



元校長もされておられた勝倉さんにご案内いただいた中学校から望んだ志津川の現在の様子です。



水梨コミュニティ仮設住宅です。現在もまだ半数の40戸近くがお住まいだそうです。



コンサート会場の集会所です。



他の会場も同じですが、コンサートのチラシを掲示いただいていたました。



コンサートの様子です。



コンサート開催にご協力いただいた(一社)ボランティアステーションin気仙沼や住民の皆様との記念写真です。



コンサート終了後、皆様とのお茶会でいろいろな話しをお聞きすることができました。



コンサート取材いただいたTBCラジオ(東北放送)のアナウンサーの鈴木さんとの記念写真です。



仮設住宅の方からご紹介いただいた食事処で格安で美味しい昼食をいただきました。





仙台市職員の竹中さんのオーボエと二重奏で荒行との声もあった「パッヘルベルのカノン」を演奏しました。



仙台市職員有志の皆さんです。(右から竹中さん、梅沢さん、伊勢さん)



コンサートの様子です。



コンサート開催にご協力いただいたひぐちさん、自治会の役員や住民の皆様、仙台市青葉区まちづくり推進課や仙台市職員有志の皆さんとの記念写真です。



仙台市役所広報課の職員の方に取材をいただき、仙台市広報課のFacebookに投稿していただきました。

2016/11/28掲載  
福岡市職員による復興応援コンサートが開催されました

昨日27日、仙台市内の復興公営住宅で、福岡市職員有志の皆さんによる復興応援コンサートが行われました。福岡市職員の皆さんは、震災の翌年から毎年被災地を訪れ、仮設住宅や復興公営住宅でコンサートを開催してくださっています。昨日は初めて仙台市職員有志とコラボし、「花は咲く」や「ふるさと」、クリスマスソングメドレーなどを演奏。集まった復興公営住宅の皆さんと一緒に歌い、和やかな時を過ごしました。震災から5年9カ月近く経過しても、引き続き温かいご支援を続けてくださっている福岡市の職員皆さん、本当にありがとうございます。



昨年より青葉区でのコンサート開催にご尽力いただき、今回は司会もしていただきました仙台市青葉区まちづくり推進課の奈須野さんです。



仙台市内でのコンサート開催や人のつながりの“ご縁”の始まりのひぐちさんにご挨拶をいただきました。



左は南三陸町や気仙沼市での司会やリコーダー演奏で大活躍の塩見さんです。



彼の歌声を聴いて涙も流される方もおられるほどの田中さんはピアノ弾き語りの中嶋みゆきの「糸」を披露しました。



一般にはめずらしいアルトフルート(右の楽器)の楽器紹介を梅沢さんにさせていただきました。



仙台市職員の竹中さんと梅沢さんの3人でアンサンブルをさせていただきました。



来場いただいた皆様との記念写真です。一番右は今回で4回目の宮城野区での開催にご尽力いただきました辻さんです。



町内会会長の川名さんご夫妻、仙台市職員の皆さんと福岡市からのメンバーでの記念写真です。



コンサート終了後、川名さんご夫妻や住民の皆様を囲んでいろいろなお話を伺いました。



## その他(1)



福岡空港で恒例の出発の儀式です。



南三陸病院内に展示されていた時計です。津波で74名が犠牲になられた公立志津川病院で唯一、元の姿をとどめていたのが病院内にかけられていたこの時計だったそうです。説明プレートには「時計の針は、津波が襲来したと思われる午後3時27分で止まっていますが、これまでも、そしてこれからもこの時計は時を刻み続けます。」のメッセージに胸が締めつけられる思いになりました。

東北は美味しいものがいっぱいです。

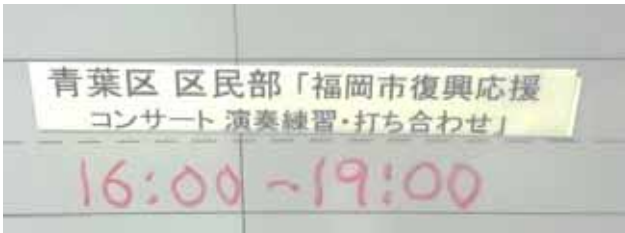


志津川のシンボリックなモアイ像です。



26日早朝、宿泊したホテルから見た志津川湾に昇る朝日です。前日に南三陸町の勝倉さんからあの日この湾の海底が見えるくらい海水が一旦引いて、その後大きな津波が押し寄せてきたとお話を伺いましたが、そんなことが信じられないほど穏やかで静かな景色でした。

## その他(2)

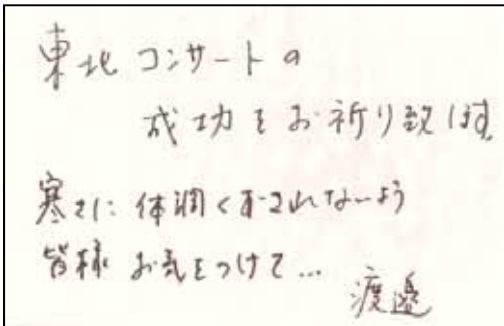


平成28年11月12日に仙台市内で仙台市職員の皆さんとアンサンブルの練習と打ち合わせを行い、夜は懇親会を開催していただきました。



福岡市のメンバーも事前にカラオケで練習しました。

皆様から参加メンバーに多くのカンパをいただきました。本当にありがとうございました。



東日本大震災の被災地を訪問しての「復興応援コンサート」も今年で5回目となり、今回あらためて感じたことは、私達がコンサートでお伺いした復興公営住宅にお住まいの方の中には、新しい生活環境に戸惑いや不安を抱えておられ、また、入居が始まったばかりの復興公営住宅では地域のコミュニティづくりが大きな課題であるということです。

もちろん、地元の自治体・公的団体・ボランティア団体などの方々も懸命に寄り添い、日夜頑張っておられることと思いますが、インフラの整備等が進む中で大震災から6年近くが経とうとしているにも関わらず“心の復興”はまだ終わっていないのだと感じました。

そこで、アマチュア音楽愛好家である私たちが福岡から訪問しての演奏で何ができるのかと考えた時、その“思い”の1つは音楽を通してお聴きいただくお一人お一人の心の癒しや安らぎの場となればということ、もう1つは地域のコミュニティづくりのささやかなきっかけとなればということです。

もう一方では、私達自身も「花は咲く」や「ふるさと」をご来場の皆様にも一緒に歌っていただく時に歌いながら涙ぐまれておられる方のお顔を拝見したり、コンサート終了後にいろいろなお話しをお伺いすることで日常では得難い貴重な感動や経験をさせていただきました。

今後、私たちの会単独でコンサートを開催することは難しいと考えており、これまで東北の各地でいろいろな人とのつながりも広がってきた中で、他自治体職員の方々とのアンサンブルなどで、この「復興応援コンサート」の“思い”をつなげていければと思っています。

最後に、今回の「復興応援コンサート」を終えて、参加メンバー・地元で開催に向けてご尽力いただきました皆様・受け入れていただきました自治会の役員の皆様・ご来場いただきました皆様の全ての方々へ厚く御礼を申し上げます。

福岡市職員音楽会実行委員会 会長 井料田 充